

殺ダニ殺菌剤

デュアルサイド[®]

水和剤

®は科研製薬(株)の登録商標

ポリオキシシンと気門封鎖のダブル効果で
他剤抵抗性ハダニ類を防除



ダニから
病気まで!

特長

1. 2つの異なる作用機作(脱皮阻害と気門封鎖)で、抵抗性ハダニ類にも安定した効果。
2. 本成分は殺菌剤としても効果を有するため、病害との同時防除でコスト削減も可能。
3. 訪花昆虫に影響が少ない殺ダニ殺菌剤。
4. 天然物由来成分と食品添加物の殺ダニ殺菌剤。



りんご褐斑病



ナミハダニ

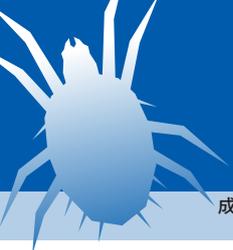


カンザワハダニ

自然に学び自然を守る



本製品は、独立行政法人理化学研究所の研究成果が利用されています。



殺ダニ殺菌剤 デュアルサイド®水和剤

農林水産省登録
第23163号

有効年限：4年
包装規格：250g袋×20袋

成分：プロピレングリコールモノ脂肪酸エステル・・・40.0% ポリオキシン複合体・・・18.0% (ポリオキシンBとして 180,000 AmBu/g)
鉱物質微粉、界面活性剤等・・・42.0%

ポリオキシン複合体

天然物由来(発酵製造)

脱皮阻害

遅効的効果



剤の由来

作用機作

ダニへの効果

プロピレングリコールモノ脂肪酸エステル

食品添加物

気門封鎖

速効的効果

効果	成虫	卵	幼虫	若虫	ダニへの作用ステージ	効果	成虫	卵	幼虫	若虫
遅効的	×	△	○	○		速効的	○	×	○	○

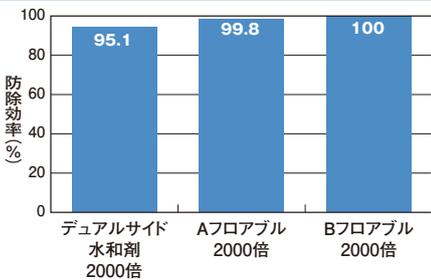
適用病害虫と使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	プロピレングリコールモノ脂肪酸エステルを含む農業の総使用回数	ポリオキシンを含む農業の総使用回数
りんご	褐斑病 斑点落葉病 ハダニ類	2000倍	200~700ℓ/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	—	5回以内(散布は3回以内)
なし	うどんこ病 ハダニ類 チャノキイロアザミウマ			収穫7日前まで	5回以内			5回以内(イミノクタジン酢酸塩・ポリオキシン水和剤は3回以内)
ぶどう	灰色かび病 チャノキイロアザミウマ ハダニ類			収穫60日前まで	3回以内			5回以内
かき	灰色かび病 アザミウマ類			収穫30日前まで	5回以内			3回以内
すいか	うどんこ病 ハダニ類 アザミウマ類	100~300ℓ/10a	100~300ℓ/10a	収穫3日前まで	5回以内	散布	—	5回以内
メロン	ハダニ類 アザミウマ類			収穫前日まで	2回以内			5回以内(塗布は1回以内)
きゅうり	うどんこ病 ハダニ類			収穫前日まで	3回以内			2回以内
なす	アザミウマ類			収穫前日まで	3回以内			3回以内
トマト	葉かび病 トマトサビダニ アザミウマ類			収穫前日まで	3回以内			3回以内
いちご	ハダニ類			収穫開始14日前まで				

試験成績

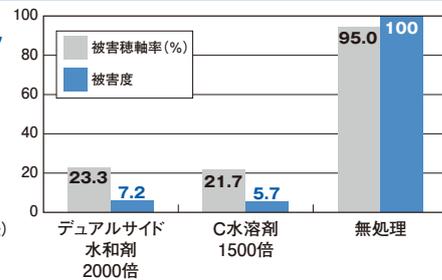
●なし ナミハダニ

2011年
(一社)秋田県農林水産技術センター
果樹試験場 天王分場
発生状況:甚発生
品 種:「幸水」28年生
区 制:1区 1樹 2連制
散布日:8/4、8/11
調査日:8/4(散布直前)、8/8(4日後)、8/11(7日後)、8/20(16日後)、8/26(22日後)、9/1(28日後)



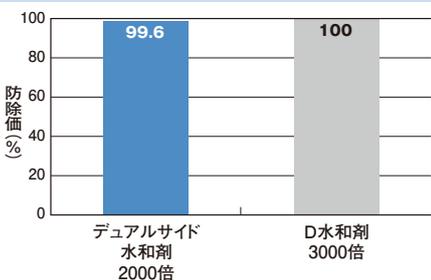
●ぶどう チャノキイロアザミウマ

2013年
(一社)日本植物防疫協会
山梨試験場
発生状況:甚発生
品 種:「巨峰」23年生
区 制:1区 20.25m² 3反復
散布日:6/28、7/8、7/18
調査日:9/2(最終散布46日後)



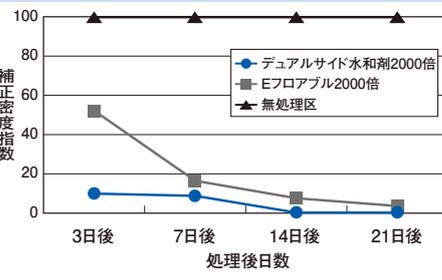
●きゅうり うどんこ病

2015年
(社)新潟県植物防疫協会
発生状況:中発生
品 種:「夏すずみ」(接木)
区 制:1区 3.8m² 6株3連制
処理量:300ℓ/10a
調査日:7/11(最終散布後7日)
葉害(%):(-)



●いちご カンザワハダニ

2010年
奈良県植物防疫協会
発生状況:中→少発生
品 種:「とよのか」
区 制:1区 2m²(1×2m)
20株 3連制
散布日:4/30
調査日:4/30(散布前)、5/3(3日後)、5/7(7日後)、5/14(14日後)、5/21(21日後)



本剤の上手な使い方

- 散布する際は葉裏まで十分かかるようにし、散布むらのないようにしてください。
- 抵抗性は出にくいと考えられますが、他剤とのローテーション散布を実施してください。
- 果菜類のハダニに使用する場合は早めの散布を心がけてください。多〜甚発生では1週間隔の2回散布が有効です。

- りんごは、ハダニ類と病害(褐斑病・斑点落葉病)との同時防除が可能で、防除経費の削減になり経済的です。防除暦中の対象病害虫の防除時期を考慮し、有効に使用してください。
- 本剤は天敵、訪花昆虫に対する影響は少ないですが、カブリダニに対しては直接、薬液がかからないようにし、カブリダニを放飼する場合は散布3日程度間隔をあげるようにしてください。

この資料は2023年3月末現在の登録内容に基づいたものです。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●使用量に合わせ薬液を調整し、使いまわしてください。●空袋は圃場などに放置せず適切に処理してください。

2256 (23-4)



本社:東京都台東区池之端1-4-26 〒110-8782 TEL:03-3822-5036
ホームページ: https://www.kumiai-chem.co.jp